

**2022年度採択「金属に関する研究・開発」助成金 応募要項**

## 1. 研究助成の目的

当社は、これまで国家の礎となってきた鉄を中心とした金属の活用・研究について、更なる可能性を追求し、次世代社会においても、新たな役割や機能を果たしていくための研究・開発に対して助成支援を行うことで鉄鋼および金属業界が起点となる持続可能な未来の共創に寄与します。

## 2. 助成金額・採択件数

最大200万円・最大3件まで

## 3. 応募期間・選考審査・採否通知／研究期間

- ・応募期間：2021年12月1日（水）～2022年2月28日（月）
- ・選考審査：2022年3月1日（火）～2022年3月31日（木）
- ・採否通知：2022年3月下旬～4月上旬（全応募者に通知）
- ・研究期間：2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）

## 4. 応募資格

日本国内の大学（院）、高等専門学校等の教育・研究機関に所属し、日本国内で研究に従事する研究者個人、または、団体（研究室・チーム・サークル等）で、2022年度中において同機関への所属が見込まれること。  
（注）教員・学生の区別なし。年齢制限なし。国籍不問。団体の場合は代表者1名が応募すること。

## 5. 応募方法 ～別紙「助成金申請書」の提出による

助成金申請書（全4頁）※EXCEL書式をダウンロードし、必要項目入力後、PDFに変換してメール送付のこと  
なお、同一年度に、同一研究者（団体）による複数の応募はできません。

※**メール送付先：jisedai@ep.topy.co.jp**

## 6. 選考方法

当該助成事業の当社管轄部門により公平公正に審査を行います。また、当社と応募者間に利害関係その他の関係がある場合も審査結果に何らの影響も及ぼしません。なお、選考過程において当社と顧問契約をしている専門家等に意見を求めることがあります。但し、応募者の属性や個人情報には公開しません。

特に重視する選考のポイントは次のとおりです。

- ・研究の学術的な意義と独創性、社会的な意義と適合性※、ビジネス上の発展性と実用性
- ・研究実行計画の妥当性、助成金使途の適正性

※SDGsやDXといった国際社会トレンドとの関連性、持続可能な社会への貢献期待度

## 7. 助成金支給要領

## 1) 支給時期と会計処理

採択通知後、研究実行計画に応じて一括支給（現金振込）します。概ね、4月中旬から4月下旬の予定です。研究者個人の口座や研究者（団体）が指定する口座への振込はできません。研究者の所属機関（会計部門）に寄附金として振込しますので、事前に所属機関（担当部門）の許可を得てください。

なお、所属機関から研究者への現金受渡し方法や時期等について当社は関与いたしかねますので、担当部門に会計処理方法を確認しておいてください。

## 2) 助成金額と研究費用

採択した研究テーマに対する助成金の支給額は、事前に申告された研究費用の概算金額を参考にはしますが、当社が当該研究費用の全てを賄い、一定レベルの成果を求めたり、権利を主張する目的ではありません。

あくまで当該研究を側面支援するための寄附金になります。よって、当該助成金の使途について、研究費用各科目への配賦や充当方法は、研究者の判断に委ねられます。

別紙「助成金申請書（研究費用一覧）」に各費用科目の概算を記入してください。なお、当該研究について、他の助成金や補助金と重複して受領する可能性がある場合は必ず事前に申告してください。故意に申告せず、重複した助成が後から発覚した場合は、採択が取消されることがありますのでご注意ください。

（研究費用科目の例）

- ・実験資材費、設備使用費、備品・消耗品費
- ・出張経費（研究者本人および共同研究者の出張時の交通費・宿泊費等）
- ・謝金・労務費（本人やチーム員、ポスドク、アシスタントを除く、外注作業費や臨時アルバイト代等）
- ・他の必要経費（論文掲載・通信・印刷・図書・施設使用・会議会場・学会参加などにかかる実費）

### ※オーバーヘッド／間接経費について

所属機関で規定化されている場合、当社の関与は及びませんが、前掲の通り、当該研究を側面支援するための一部資金援助という趣意であることから、支給額決定に際し、オーバーヘッド分まで加味しておりません。なお、別枠での補填もできかねますので、お手数ですが、あらかじめご理解いただき、所属機関へ免除申請をしていただくことをお奨めいたします。

## 8. 研究成果

当該研究成果について学会等での発表や論文執筆など能動的な活動を期待します。発表に際しては当社から助成を受けた旨、お書き添えください。（例）This R&D was supported by TOPY enterprises,ltd.

また、掲載論文の別刷や著書等のご提供をお願いします。データやコピー等でも構いません。

研究成果に基づく特許や実用新案の出願に際して当社は権利を主張しません。なお、助成研究期間終了後も、当社と共同で研究・開発を行う場合は、あらかじめ協議することとします。

## 9. 個人情報その他の情報管理

本助成研究において当社へご提出いただいた全ての個人情報その他の要秘匿情報については、社内担当部署内での扱いに限定し、研究者の許可なく第三者へ開示したり漏洩することはありません。

### （参考）採択後の手続き

採択された研究者には別途ご案内しますが、期日までに当社が用意する様式にて書類提出をお願いします。

※振込依頼書（所属機関承認印）、顔写真データ、年間スケジュール表、中間報告書、他。

原則として、採択後に研究テーマや研究計画の大幅な変更や中止はないものと考えますが、不測の事態発生（社会情勢の急変、研究者の期中異動・退職・転学等）により、研究を変更または中止せざるを得ない場合は、可及的速やかにご連絡いただき、変更計画書の提出や他の研究者への引継ぎをお願いします。

研究開始・中間・終了時等に当社担当者が研究現場見学に伺うことがあります。あらかじめご了承ください。

以上